



最少催行人員 10名 専門ガイド同行 総額20万円(税別)

**コースNo. 110** ★東京発着

ブリスベン&モートン島で世界の取組を見学  
SDGsについて考えるオーストラリア

6日間

旅行代金(東京発着) お一人様あたり

出発日	旅行代金(燃油サーチャージ込)
9月6日(日)	298,000円
名古屋・大阪・福岡国内線追加代金(JAL、ジェットスター・ジャパン往復) 5,000円	
札幌国内線追加代金(JAL、ジェットスター・ジャパン往復) 10,000円	
1人部屋追加代金 44,000円	
相部屋条件: 6/15まで相部屋希望を受け付けます。期日以降はP5をご覧ください	

- 食事: 朝食3回・昼食3回・夕食2回(機内食除く)
  - 最少催行人員: 10名(定員20名)
  - 添乗員: 添乗員は同行しません。現地日本語係員がご案内します。
  - 利用予定ホテル: ブリスベン…ホテル グランド チャンセラー ブリスベン  
モートン島…タンガルーマ アイランド リゾート
  - 利用航空会社: カンタス航空(エコノミークラス)
  - 必要ビザ: ご自身でETAS(電子渡航認証)の申請手続きが必要
  - パスポート: 残存有効期間: 帰国時まで有効
- ※下記は旅行代金に含まれませんので、旅行代金と合わせてお支払いください。(2020年3月1日現在) 日本国内の空港施設使用料(成田: 2,130円)、旅客保安サービス料(成田: 530円)、国際観光旅客税1,000円および海外空港諸税(約8,940円)

【札幌・名古屋・大阪・福岡発着の方へ】  
国際線は成田空港発着となりますが、国内線が羽田便になる場合があります。その際、羽田⇄成田空港間の交通機関は、お客様ご自身の手配・ご負担となります。羽田⇄成田空港間のリムジンバス代金は3,200円です(2020年3月1日現在)  
また宿泊を伴う場合、国内宿泊はお客様ご自身の手配・ご負担となります。  
ご利用便は国際線発着時刻より24時間以内に接続する東京(羽田または成田空港)への直行便に限りです。  
正規運賃の航空座席中に空席がある場合でも予約が確保できない場合があります。  
国内の「空港施設使用料」はお客様ご負担となります。(成田空港 450円、羽田空港 290円、千歳空港 270円、中部空港 440円、伊丹空港 260円、関西空港 440円、福岡空港 110円)

日程			
1	9/6(日)	成田	19:55 空路、ブリスベンへ 機中泊
2	9/7(月)	ブリスベン	05:55 ブリスベン到着 【着後】①自然環境・野生動物をとりまく環境について、現地名門大学講師から学ぶ 【午前】野生動物ケアラ宅訪問 クィーンズランド大学 カットンキャンパスにて昼食 【午後】王立動物虐待防止協会(RSPCA) ブリスベン泊
3	9/8(火)	ブリスベン	【午前】②クィーンズランド大学にてモートン島の自然に関する講義受講 大学内の食堂にて昼食 【午後】③現地企業視察(タンガルーマ本社オフィス) ブリスベン泊
4	9/9(水)	ブリスベン モートン島	【午前】フェリーにて、モートン島へ 【午後】④モートン島にてエコスタディツアー SDGsの目標への取組について講義を受け、その後、実際に現場見学を行います。 野生イルカの餌付けも体験いただけます。 モートン島泊
5	9/10(木)	モートン島 ブリスベン	【午前】フェリーにて、ブリスベンへ 到着後、自由行動 【夜】⑤プレゼンテーション&Farewell Party ブリスベン泊
6	9/11(金)	ブリスベン 成田	【早朝】現地係員と共に空港へ 09:35 空路、帰国の途へ 17:55 成田空港着

旅行企画・実施 (株) アーク・スリー・インターナショナル

※上記日程は訪問先の都合や現地事情により訪問順序等が変更になる場合があります。



獣医学博士(クィーンズランド大学)  
水野 哲男先生

- ・オーストラリア日本野生動物保護教育財団理事長
- ・日本獣生命科学大学客員教授
- ・クィーンズランド大学客員上級講師
- ・オーストラリア連邦クィーンズランド州レッドランド市名誉国際大使及び国際関係顧問
- ・日本国岐阜県可児市オーストラリア交流顧問

専門領域: ワクチン工学、細菌学、予防医学  
オーストラリア日本野生動物保護教育財団を設立し、オーストラリアの野生動物保護活動を支援しながら、『自然と人のより良い共存』を目指し、生態系の保全や持続可能な開発について教育啓発活動を行っている。現在この基盤を通じ、高校提携、大学提携、姉妹都市提携とその提携後の各分野での交流活動の促進を支援し、オーストラリアと日本の両国の関係促進の為、草の根活動を行っている。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

早期学習 10,000円割引  
キャンペーン  
(パンフレット記載の旅行代金より)  
●6/15(月)までにお申し込みの方対象。



『SDGs』とは?  
Sustainable Development Goals  
略してSDGs 『持続可能な開発目標』

2015年9月に国連サミットで採択された「地球上の誰一人として取り残さない(leave no one behind)」を理念とした持続可能で多様性と包摂性のある社会を実現するための17の国際目標。  
先進国を含む世界中の国が対象となり、2016年から2030年が期限と設定されています。ちょっと難しい話に聞こえるけど、例えば紙ストローの利用を増やす取り組みは、海洋プラスチックごみ問題の解決を目指している身近な例。  
環境保護への意識が高いオーストラリアでは、SDGsへの取り組みも多数行われています。本ツアーでは、ブリスベンとモートン島で、実際に行われているSDGsへの取り組みを見学します。  
本ツアーへの参加を通し、皆さんもSDGsに対する取り組みを考えてみてください。

ツアーポイント

①自然環境・野生動物をとりまく環境について、現地名門大学講師から学ぶ

・クィーンズランド大学 獣医学博士 水野 哲男先生による講義  
オーストラリア日本野生動物保護教育財団の理事長でもある水野先生に、現在の自然環境・野生動物の状況について講義していただきます。  
・通常では入場が許可されない「野生動物ケアラ宅」を訪問  
ここでは、親を事故などで失ったコアラ、カンガルー、ポッサムなどを引き取り、一定の年齢になるまで育て、自然に戻す仕事をボランティアで行っています。献身的に世話をしているご家庭を訪問して活動を学んだり、体験談を伺ったり意見交換を行います。  
・「王立動物虐待防止協会」を訪問  
イギリスで設立された非営利団体。運営費の約99%が企業や個人からの寄付によって賄われています。  
動物虐待防止を促すための教育活動や法律改正のための提言活動、飼い主を失ったペットたちに新しい家庭を探す養子縁組活動などを行っています。  
◎対象となるSDGs目標 ④質の高い教育をみんなに ③気候変動に具体的な対策を ④海の豊かさを守ろう ⑤陸の豊かさを守ろう

②クィーンズランド大学にてモートン島の自然に関する講義受講

大学のキャンパス内にてモートン島に関する講義を受講。滞在前に、モートン島の自然についてより知識を深めます。  
現地学生に交じって、食堂でのランチも体験いただけます。  
◎対象となるSDGs目標 ③気候変動に具体的な対策を ④海の豊かさを守ろう

③現地企業視察(タンガルーマ本社オフィス)

移民が多い多国籍文化のオーストラリア。オーストラリアの企業タンガルーマでも多国籍のスタッフが働いています。  
総務・アカウント・IT、リザーベーション、セールスマーケティングなど本社機能の部署があるタンガルーマ本社を、日本人スタッフが案内します。  
実際にオーストラリア企業で働くスタッフから体験談を聞いたり、意見交換をする時間もあります。  
◎対象となるSDGs目標 ⑥働きがいも経済成長も

④モートン島にてエコスタディツアー (SDGs プレゼンテーション&見学ツアー)

大自然に囲まれたモートン島 タンガルーマリゾートにて、SDGs 17のグローバル目標のうち環境保護を中心とした5つの目標についての取り組みをプレゼンテーション講義にて受講。  
講義を聞いた後、実際に現場を見学します。  
◎対象となるSDGs目標 ①住み続けられるまちづくりを ②つくる責任つかう責任 ③気候変動に具体的な対策を ④海の豊かさを守ろう ⑤陸の豊かさを守ろう

⑤プレゼンテーション

この旅行を通じて学んだことを発表するプレゼンテーションの場を、帰国前日に設けています。



ケアラ宅訪問 イメージ



モートン島イルカの餌付け イメージ